

『大統寺だより』第18号 2006(平成18)年1月 大統寺住職 渡邊宗徹合掌

1. 《住職よりの一言》 「日日是好日(にちにちこれこうじつ)」

昨年は皆様にとって良い年でしたか?昨年末は大統寺の恒例となりました「除夜の鐘」を檀信徒や近隣の方々に撞いて戴き108個の煩惱を吹き飛ばして戴きました。(新聞記事は右記)この冬は厳冬ですが地球の温暖化が原因だそうです。温暖化が寒波とは理解し難いですが、温暖化は私たちが使う化石燃料等の排出ガス(二酸化炭素ガス)が大いに関係しています。使わない部屋の電灯は消し、室温を1、2度下げ厚着することなら直ぐに出れます。子供たちの次の時代のために自分でできることから始めましょう。



大統寺参道(日中の様子)



夜はロウソクでライトアップ



当夜開始前の静かな鐘楼



朝日・民報・民友の新聞掲載記事

2. 寺宝紹介第4回「梵鐘(ぼんしょう・釣鐘) 《松平定信公縁の大統寺の梵鐘》



除夜の鐘に因んで今回は鐘楼の梵鐘についてご紹介致します。この梵鐘の表面には、銘文が刻まれており、鑄造された時期や謂れが書かれております。これによると、今から200年程前、松平定信公が山形から鋳物師安斎氏を招聘し横町に仕事場を構えさせ、大統寺の梵鐘も制作して戴いたとのことです。第二次世界大戦では貴金属の供出のために取り外されましたが由緒ある鐘のために無事に戻ってきたのです。紙面の関係で詳細をお知らせ出来ませんが、鐘楼に上って銘文を御読み下さい。今年中には、内容を表示板にして解説しようと予定しております。一昨年より12月31日23時半過ぎから除夜の鐘を皆さんに撞いて戴いております。毎年続けますので今年もどうぞお越し下さい。(先着108名に干支根付と記念品進呈、境内で甘酒けんちん汁接待、どなたでも)記念品は毎年大統寺顧問川瀬一男様より御寄贈。

3. 報告と御案内事項

① 大統寺御守りの頒布

干支のフェルト製の根付人形に皆様の家内安全・満願成就を御祈禱した御守りを付けたものをお分けすることに致しました。(志納金400円、御守りのみは200円)

根付人形は障害者作業所「なごみの家」(白河市郭内)の皆さんに作って頂いています。

「申(さる)」歳から始めたので、今回で3種類となりました。12支集めませんか。

大きさは5cm位です。バックや携帯電話に付けられるチェーン付きです。お洒落かも。



② 大統寺檀信徒団体参詣研修旅行「バスで行く本山の妙心寺参詣と京都の旅」(12月6日~8日、2泊3日)

一昨年の本山参詣研修旅行が好評でしたので、1年おきに実施することに致しました。平成20年が本山の妙心寺(京都市右京区)の開山様(無相国師)650年のご遠忌にあたることから、この事業に沿った参詣となります。本山で皆様の先祖供養をしてから、旅行社や個人では拝観できない神社仏閣を研修し、京料理を堪能する楽しい旅です。計画書が出来次第、参加者を募集。

③ 第3回健康セミナー「歯と健康—高齢化社会に向って長生きするために—」2月22日(水)19時開講、於大統寺本堂

講師:丸山武彦先生(丸山歯科医院院長(白河市関辺)) 受講無料。どなたでも受講可能。奮って参加下さい。

④ 正月「年頭回礼(ご祈禱札のお届け)」(1月4日から3日間で近隣の檀信徒宅を訪問、市外は郵送)

連絡先:電話 0248-23-2723、FAX 23-3731 E-mail daitouji@ybb.ne.jp